

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 投票率の向上に向けて (40分)</p> <p>2015年の統一地方選挙における投票率は、全国の各選挙において多くが過去最低を更新しました。埼玉県内についても、埼玉県議会議員一般選挙、さいたま市議会議員一般選挙、また、本市を含む28市町議会議員選挙とも、過去最低の投票率となりました。更に、さいたま市議選では北区が無投票に、そして、12の町議選では4町が無投票となるなど、「選ぶ人」「選ばれる人」とも選挙離れが深刻化していると言わざるを得ない状況となっています。</p> <p>一方、与野党政府は、公選法改正案を今国会中に成立させ、選挙権年齢を18歳以上に引き下げる見通しであり、来年夏の参議院議員選挙から適用されるのではないかとされており。このことにつきましては、「若者の政治参加を促す」との主旨で進められておりますが、様々な議論が飛び交っております。</p> <p>さて、このたびの本市で執り行われた県議会議員選挙、市議会議員選挙の投票率も例外なく低投票率となり、県議選では、35.87%、市議選では42.26%という結果となりました。本来、市民や地域の代表を選挙で選ぶということを考えると、より多くの市民の方に選挙に参加していただくことが大前提であり、民意を反映するためにも投票率の向上は不可欠であると思っております。これらのことを踏まえ以下質問致します。</p> <p>(1) 選挙管理委員会の取組状況について</p> <p>ア 県議選の投票率と市議選の投票率の向上のために取り組んだことは</p> <p>イ 20代、30代の年齢層の投票の状況と投票率向上のための取組について</p> <p>ウ 投票率の向上のためには、何が重要ですか</p> <p>(2) 学校教育における選挙、投票等の教育の取組状況</p> <p>(3) 選挙権を18歳以上に引き下げることについて</p> <p>(4) 県議会議員選挙と市議会議員選挙の同一実施について</p>	<p>市長 教育委員会委員長 選挙管理委員会委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>2 郷土愛を育むために (20分)</p> <p>鶴ヶ島市の歴史について教えてください。と、市民の方から問われました。私自身は鶴ヶ島に移り住んでから28年が経過していますが、改めて問われると、ほとんど何も知らなかったというのが実情であります。鶴ヶ島町史など鶴ヶ島の歴史や昔ばなしなどの資料は、図書館等に収められていますが、自ら進んで手に取る機会もあまりありませんでした。これは、この鶴ヶ島市に生まれ育ってきた人とは愛着心というか郷土愛というものが、微妙に違いがあるのかなと感じたりしています。であるならば、子どもの時から幼少時期から自分が生まれ育った土地、地域を知り、我がまち、故郷を好きになることは当然であるはずではないかと思いつつ、また、そうあってほしいと念願しています。そして、「ずっと住み続けたい鶴ヶ島」と思われるようなまちづくりへと進めていかなくてはならないと思っています。</p> <p>近年、親世代は少子化や共働きなどの社会構造の変化によって、近隣と接する機会が減少し、また、地域のかかわりが希薄となっており、地域に対する関心がなくなりつつあります。本来、子どもたちは、地域の伝統に基づいた様々な行事や活動を通じて、そこに加わることで地域の歴史や文化を学び、「郷土を愛する心」を育んできました。子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、生涯にわたって心の支えとなる郷土愛を育んでいけるような取組が今こそ重要であると思います。</p> <p>(1) 教育現場での郷土愛を育むための取組について  (2) 地方創生に係る定住促進・Uターン等につなげるための方策についての考え  (3) 郷土愛を育むためには、どのような取組が必要ですか</p>	<p>市長  教育委員会委員長</p>